

美しき冬の富士山 in 逗子



←逗子海岸からの富士山

Aさんは、逗子からの美しい景色を撮ってSNSで発信しています。最近、私はデジカメで富士山を撮って自分なりに楽しむようになりました。あるとき、Aさんから潮目を入れて撮ることを教わり、日没後の逗子海岸から富士山を撮りライン仲間に送りました。感想をいただきやりとりもありました。

○同じ写真は二度とない貴重な写真ですね。今この時間を切り取った素敵な写真ですね。潮目の発生する時刻は毎日決まっていますか？

＊海の中には、水温、流れ、塩分濃度が異なる部分があり、これらの塊がぶつかり合うことで潮目ができるようです。よって、その時によると思います。

○と言うことは、シルエットの富士山とその中腹かかる帯状の雲に夕焼け空、潮目のできた相模湾、それらが同時に発生したまさに奇跡的な一枚ですね。



大崎公園から

早朝、毎日のように大崎公園で富士山を撮っている人がいます。その人が、今日は特に美しい富士山ですと教えてくれました。なるほど、いままでに見たことがない幻想的な美しさです。変わりゆくグラデーションの景色をあせりながらも撮りました。

逗子市の標語は「青い海とみどり豊かな平和都市」です。ヨットと江の島が浮かぶ富士山は逗子らしい景色です。

富士山は、いつ見てもどこから見ても美しい姿を見せてくれます。披露山からの富士山は絶景です。野中到は、妻・千代子と共に富士山頂で最初の越冬観測を試みました。新田次郎の「芙蓉の人」は、到夫妻の実話小説です。晩年、逗子に住んだ到は、美しい冬の富士山を眺めたのではないのでしょうか。



逗子海岸から



披露山公園から